

## 一般公開の再開とひなまつりプレミニ展示



3月2日（土）より一般公開を再開します。

2日（土）、3日（日）、9日（土）、10日（日）はひなまつりのプレミニ展示として、下記内容の展示を行います。

4日間だけの展示、ぜひごゆっくりとお楽しみください。

### 【展示内容】

ひなまつりの開催に先駆けて、柏倉一族に伝わる雛飾りの内、普段は段飾りの一番上にいる内裏雛（男雛・女雛）を一堂に会します。間近での鑑賞をお楽しみください。

中山町の国指定重要文化財・旧柏倉家住宅を会場に、柏倉一族に伝わる江戸期から昭和期までの貴重な男雛と女雛の5組10体が、初めて一堂に展示されている。桃の節句の3日、来館者は美しい色彩や気品ある顔立ちなどを観賞し、その姿に魅了されていた。

5組は仏間に展示され、江戸期の享保雛は紅花染めとされる衣装の色彩が鮮やか。画家で柏倉喜作家4代当主喜十郎が大正時代に手がけた内裏雛は、くっきりとした表情が印象的。来場者はガイドの説明を聞きながら特徴を比較し、じっくり観賞した。千葉市から訪れた自営業五十嵐正利さん（66）は「歴史ある家の造り、人形の質の高さに驚いた。この地域の豊かさを感じた」と話していた。

「柏倉九左衛門家ひなまつり」のプレミニ展示として実施されており、9日と10日にも公開する。まつりは、黒塚のまちなみ保存活用協議会（井上俊美会長）が旧柏倉惣右衛門家住宅、旧柏倉喜作家（みんなの居場所・岡縁里（おかえり））、柏倉清右衛門家を含めた計4会場で16、17、20日に開催。この3日間は5組10体を4会場に分けて展示する。